



↑ Cブロック (南側棟)
CASA KAIKO(カーサ開広)
住宅内部



↑ 整備前



デイルーム
レリエンスほくおう帯広中央
↓ Bブロック (北側棟)



【事業の目的】

開広団地地区は、帯広市の中心市街地エリアの西端に位置し、昭和45年に流通系の団地として整備され、帯広市における流通機能を長年にわたって担ってきました。しかし、近年は建物等の老朽化が進み、また、物流環境も大きく変化してきたことから、当該地区の機能の更新が必要となっていました。

このため、地権者の一部が個人施行者となり、居住系中心の土地利用を柱に、事業系、商業系を加えた複合施設を整備することとし、帯広市中心市街地活性化基本計画の主要な事業の一つとして位置づけ、中心市街地における土地利用の更新を先導するモデルとして事業を進めました。

事業は平成27年3月に完了し、施設建築物としては、有料老人ホーム、デイサービス、飲食店などが入居する7階建ての建物(Bブロック)、賃貸住宅のほか地権者企業の商業施設、事務所が入居する6階建ての建物(Cブロック)の2棟が整備されています。

帯広市において2例目の市街地再開発事業であり、今後、建物の老朽化が進んでいる街区における再開発のモデルケースとなるとともに、施設に入居した各事業者の事業展開により、街なか居住人口の増加やにぎわいの創出が期待されています。

【施設の概要】

事業期間：平成21年度から平成26年度
 施行者：個人施行者
 所在地：帯広市西8条南6丁目

地区面積：10,588㎡
 敷地面積：5,573㎡
 建築面積：2,028㎡
 (B棟 1,208㎡+C棟 820㎡)
 延床面積：11,908㎡
 (B棟 8,272㎡+C棟 3,636㎡)

用途：B棟 有料老人ホーム176床、
 デイサービス、地域交流スペース、商業施設
 C棟 賃貸住宅44戸、商業施設
 階数等：B棟 地上7階、1棟、RC造
 C棟 地上6階、1棟、RC造
 総事業費：2,540(百万円)
 うち国費：516(百万円)

位置図



配置図

